平成24年度病害虫発生予察情報　特殊報　第1号

平成 24 年4月 17 日
広 島 県 農 林 水 産 局
（ 農 業 技 術 課 ）

1　病害虫名
　インパチェンスえそ斑紋病

2　病原名
　インパチェンスネクロティックスポットウイルス
　（*Impatiens necrotic spot virus*：INSV）

3　発生作物
　インパチェンス，ニューギニアインパチェンス，ゼラニウム，トレニア

4　発生経過
平成24年４月，広島県内の施設花壇苗（インパチェンス，ニューギニアインパチェンス，ゼラニウム，トレニア）において，下記の病徴を示す株が見られ，平成24年４月５日に広島県立総合技術研究所農業技術センターにおいて，遺伝子診断法（RT-PCR法）によって罹病葉からインパチェンスえそ斑紋ウイルス　*Impatiens necrotic spot virus*（以下INSV）が検出され，本ウイルスによる病害であることを確認した。
なお，本県における本ウイルスによる被害は初確認である。
本ウイルスの最初の発生は，1990年にアメリカ合衆国においてインパチェンスで確認された。国内においては平成11年に静岡県で初めて確認され，平成24年４月現在，23都道県で特殊報を発表している。近県では，岡山県，山口県及び鳥取県で発生が確認されている。

5　病徴
葉に，輪紋，斑紋などを伴う，えそ症状（褐変枯死）が生じるほか，退緑斑点などのモザイク症状を引き起こす。トマト黄化えそウイルス（TSWV）と似ているため，病徴だけでの判別は困難である。
なお，これらの症状は夏期の高温時には一時的に見られなくなることもある。

6　伝搬方法等
（１）本ウイルスは，ミカンキイロアザミウマおよびヒラズハナアザミウマにより媒介されるが，特にミカンキイロアザミウマの媒介能力が高い。これらのアザミウマは幼虫の時にのみ，本ウイルスを獲得し，保毒幼虫が成虫になってウイルスを媒介する。媒介虫は一旦ウイルスを保毒すると死亡するまで伝搬能力を保持するが，経卵伝染はしない。
（２）汁液接種によって感染するが，接触伝染の可能性は低いとされている。また，土壌伝染および種子伝染は報告されていない。

（３）本ウイルスの宿主範囲は極めて広く，キク，シクラメン，インパチェンス，トルコギキョウなど花き類を中心に多くの植物で感染が報告されている（表1）。

7　防除対策

（１）本ウイルスの宿主範囲は極めて広い（表1）。ほ場内外の雑草や不必要な花き類等は、本ウイルスの感染源やアザミウマ類の増殖源となるので、速やかに除去し適切に処分する。

（２）アザミウマ類の侵入防止対策として，施設の開口部に0.8mm目合い以下の防虫ネットの設置が有効である。

（３）青色粘着トラップを設置するなどしてアザミウマ類の発生動向を把握し，発生を確認した場合は直ちに薬剤防除を行う。

（４）発病が見られる株は二次伝染源となるため，発見しだいほ場外に持ち出し土中深く埋める等，適切に処分する。

写真 1　インパチェンスにおける退緑輪紋，退緑斑およびえそ斑

写真２　インパチェンスにおけるえそ輪紋

写真３　ニューギニアインパチェンスにおけるえそ輪紋およびえそ斑

表１ インパチェンスえそ斑紋ウイルス（ＩＮＳＶ）の寄主植物

キク科	レタス、キク、ガーベラ、シネラリア、デージー、ダリア、マリーゴード、ソリダコ、ムギワラギク
ナス科	ジャガイモ、トマト、トウガラシ、クコ、タバコ、ペチュニア、ダチュラ、シザンサス
シソ科	スィートバジル、西洋ハッカ、サルビア、コリウス、モナルダ、カクトラノオ、モルセラ
ゴマノハグサ科	ジキタリス、キンギョソウ、カルセオラリア
ユリ科	タマネギ、ユリ、オモト、ドラセナ、ギボウシ
イワタバコ科	グロキシニア、セントポーリア
ユキノシタ科	アジサイ、ユキノシタ
ツリフネソウ科	ニューギニアインパチェンス、インパチェンス（アフリカホウセンカ）
フウロウソウ科	ゼラニウム、ツタバテンジクアオイ
キンポウゲ科	アネモネ、デルフィニウム、ラナンキュラス
アブラナ科	マガリバナ
サトイモ科	シンゴニューム
ベンケイソウ科	カランコエ、セダム
クマツヅラ科	バーベナ、ランタナ
リンドウ科	トルコギキョウ、エキザカム
アヤメ科	アイリス、グラジオラス
サクラソウ科	プリムラ、シクラメン
ツツジ科	アザレア
マメ科	エンドウ
バラ科	カナメモチ、シャリンバイ
ヒユ科	ケイトウ、センニチコウ
キキョウ科	カンパニュラ
アカネ科	クチナシ
コショウ科	ペペロミア
ヒガンバナ科	ユーチャリス
ケシ科	ケシ
アルストロメリア科	アルストロメリア
シュウカイドウ科	ベゴニア
スベリヒユ科	マツバボタン
モチノキ科	モチノキ
キョウチクトウ科	ニチニチソウ
キツネノマゴ科	アフェランドラ
ツユクサ科	ムラサキツユクサ
ラン科	ラン科の一種

（横浜植物防疫所発行 植物防疫所病害虫情報 №62 より抜粋）

○病害虫発生情報に関するお問い合わせ先
西部農業技術指導所・西部病害虫防除所（ 東広島市八本松町原 6869 電話 082-420-9662 ）
東部農業技術指導所・東部病害虫防除所（ 福山市三吉町一丁目 1-1 電話 084-921-1311 ）
北部農業技術指導所・北部病害虫防除所（ 三次市十日市東四丁目 6-1 電話 0824-63-5181 ）
広島県立総合技術研究所
農業技術センター生産環境研究部 （ 東広島市八本松町原 6869 電話 082-429-0521 ）
農林水産局農業技術課 （ 広島市中区基町 10-52 電話 082-513-3559 ）
○病害虫発生予察情報は，インターネットでも提供しています。
アドレス：広島県農業情報ローカルネット 「病害虫情報」－「病害虫発生予察情報」
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/byougaicyuuboujyo.html